

第5回 ホテルウェルコ成田杯 四十雀サッカー大会(大会概要)

■期日:2019/2/24 ■場所:中台球技場 ■主催:成田市サッカー協会 ■主管:同協会5種部会
 ■共催:成田市体育協会 ■後援:ホテルウェルコ成田 ■開会式:08:30 ■試合開始:09:00
 ■事務局:成田SSS ■大会会長:早乙女清和 ■大会顧問:黄 環浩 矢島 暢子



【大会概要と開催経緯】

2014年大会から、4種と5種のコラボ大会だった旧ロータリークラブ杯サッカー大会を、5種部門を切り離し単独大会としてから6年目の大会で、旧ロータリークラブ杯から数えると11回目、年度では12年目（H22年度中止）にあたる。秋の保険ニュース杯（旧成田ケーブルTV杯）大会と春のこの大会が5種カップ戦の2大会にあたる。現在の大会名は「HOTEL WELCO成田杯 四十雀サッカー大会」。エントリー部門はチャレンジとエンジョイの2部門、冬晴れの下で白熱した試合が多く、例年以上に盛り上がりました。



◆来賓:左から小泉市長、宇都宮議員/市協会顧問、門馬体育協会会長/市協会顧問 ◆大会顧問:矢島GM ◆大会会長:早乙女会長



◆幹事チーム(成田SSS)司会進行:川畑氏

◆冬晴れの天気の下での開会式



◆チャレンジの部優勝:栄RFCイレブン、第1回大会から4年ぶりに栄冠を奪還した。

第5回 ホテルウェルコ成田杯 四十雀サッカー大会(結果1)

【大会結果 チャレンジ部門】

チャレンジの部には3ブロック制で11チームがエントリー。FCボレイロ成田が大会連覇しており、本命で3連覇がかかっています。一方、栄RFCは強豪LAGAME佐倉と同じA組で、勝点で並びながらも得失点差でたたかに1位抜け。B組は順当にFCボレイロが2勝で決勝に駒を進めます。

C組は、NKと旭FCが台頭し、お互い直接対決は無いながら勝点で並び、総得点でNKが1位抜け。旭FCもB組2位より勝点で勝り2位抜け、決勝Tの相手が栄RFCだけに、この時点で2位抜け有利に見えました。

しかし、準決勝でその旭FC相手に栄RFCが手堅く戦って1点差を守りきり決勝に進めます。一方、FCボレイロはNKアーセナル相手に決め手を欠きPK戦の末、まさかの準決敗退。

決勝戦は開始早々、栄RFC安藤選手がNK守備陣のミスをついて先制します、その後は、固い守備陣が攻められながらも最終ラインを割れせず、手堅く試合を進め1点を守り抜き、4年ぶりの栄冠に再び咲きました。大会を振り返ると栄RFCの勝因は、GK関根選手を中心に全4試合を失点1で戦い抜いた固い守りでした。

■勝点と同じ場合: ①得失点差、②総得点、③当該対戦の最大得点、④PK

【予選ブロック】

A組	公津FC40	LEGAME佐倉	栄RFC40	勝点	得点	失点	得失点	順位
公津FC40	●	●		0	1	10	-9	3
LEGAME佐倉40	○	△		4	5	0	5	2
栄RFC40	○	△	●	4	5	1	4	1

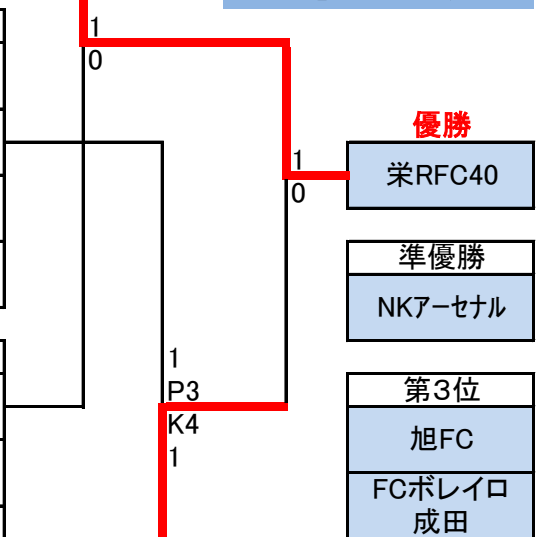
B組	成田SSS	FCボレイロ	七栄FC	三里塚	勝点	得点	失点	得失点	順位
成田SSSユ	●	○			3	3	2	1	3
FCボレイロ成田	○	○			6	3	0	3	1
七栄FC	●		●		0	0	8	-8	4
三里塚プレービィ	●	○		○	3	3	1	2	2

C組	旭FC	日吉台	酒々井	NK	勝点	得点	失点	得失点	順位
旭FC	○	○			6	4	1	3	2
日吉台ロツネ	●	○		●	0	2	5	-3	3
酒々井ナトゥレ	●		○	●	0	1	4	-3	4
NKアーセナル	○	○	○	○	6	5	2	3	1

【決勝トーナメント】



■栄RFC、NKとの決勝戦で先制点を入れた安藤選手



◆第1回大会からで数えて2度目の優勝に湧く、栄RFC40イレブン



■栄RFC GK: 関根選手

- ◆ゲームプラン: 堅守速攻、先制点は狙い通り
- ◆勝因: 相手に攻めさせながら、中を固めてシンプルに守り切れた事
- ◆難敵に先制した安藤 (ア: 金沢) 選手に感謝

第5回 ホテルウェルコ成田杯 四十雀サッカー大会(結果2)

【大会結果 エンジョイ部門】

メルキュールホテル／ホテルウェルコ成田杯の直近4年間優勝はNKエミが2回、酒々井が1回、CPFCが1回と各チームとも拮抗しており、今大会もエンジョイ部門は本命がその酒々井ドルゴバード、NKエミ、CPFCなれど、各チームに可能性は充分にあります。

予選A組には、その酒々井、NK、CPFCと優勝実績のあるチームが固まり、文字通り死の組。その中で酒々井が盤石の試合運びで2勝し1位抜けします。

B組は、NFCが日吉台と競合いながらも2勝し1位抜けし勢いを感じさせます。C組は公津FC50が成田SSS50と接戦で、お互い相譲らず引分け、栄RFC50との得点差により、公津FC50が1位抜け。

準決勝Tで、公津FC50相手にNFCシャドーズが粘り、PK戦まで持ち込んで決勝に進み、大会初優勝にあとひとつに迫りました。決勝の相手は成田SSS50を3-1で圧勝した酒々井ドルゴバード、2枚の高速FWを要し、ここまで9得点の勢いがあります。

決勝では、その酒々井ドルゴバードの2枚FWが機能し、食い下がるNFCに4点差の圧勝でH27年度大会に続き2回目の優勝を飾りました。NFCも初優勝にもうひとつでしたが、また来年大会につながる戦い振りでもありました。

【予選ブロック】

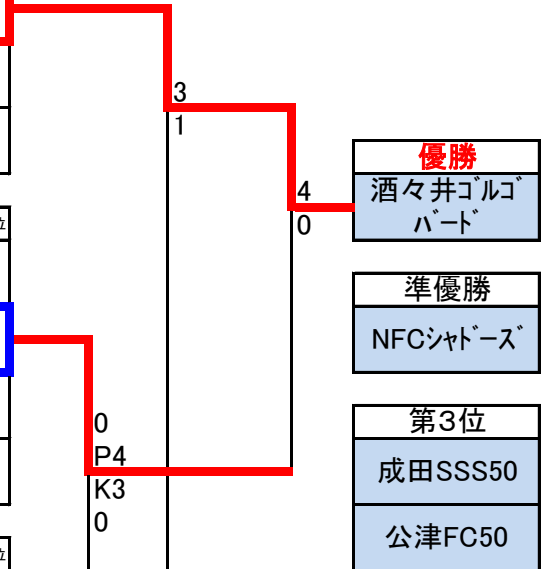
【決勝トーナメント】

■勝点と同じ場合:①得失点差、②総得点、③当該対戦の最大得点、④PK

A組	酒々井ドルゴバード	CPFC	NKエミ		勝点	得点	失点	得失点	順位
酒々井ドルゴバード	○	○			6	6	2	4	1
CPFC	●	△			1	2	3	-1	2
NKエミ	●	△	△		1	2	5	-3	3

B組	日吉台	NFC	三里塚		勝点	得点	失点	得失点	順位
日吉台ピアノ	○	○			3	2	2	0	2
NFCシャドーズ	○	○			6	2	0	2	1
三里塚アルテ	●	●	○		0	1	3	-2	3
					0	0	0		

C組	公津FC50	栄RFC50	成田SSS50		勝点	得点	失点	得失点	順位
公津FC50	○	△			4	3	0	3	1
栄RFC50	●	○			0	0	5	-5	3
成田SSS50	△	○	○		4	2	0	2	2
					0	0	0		



◆2度目の優勝を飾った酒々井ドルゴバードイレブン

◆エンジョイ部門台風の目となったNFC戦い